

## 1 単元名 Lesson17 「Which〜?」

## 2 単元について

本単元では“**What〜?**”“**Which〜?**”といった英語表現を扱い、“**What〜?**”“**Which〜?**”の表す内容を理解し、自分や友だちのことを話したり書いたりして、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることをねらいとしている。

英語科としての学習も2年目となり、児童は今までに“**like**”“**play**”“**have**”“**eat**”“**want**”“**watch**”などたくさんの動詞について慣れ親しんできている。これらの動詞に対して“**Do you〜?**”や“**What〜?**”の疑問形の表現を使い児童に尋ねてきた。その結果、“**What〜?**”の表現には十分慣れ親しんでいる。そこで本単元の学習を通してこれまで慣れ親しんできた“**What〜?**”の表現に加え、“**Which〜?**”の表現を取り入れていく。また、これまで尋ねられたことに対して答えることが多く、友だちのことについて尋ねる場合でも“**Do you〜?**”の表現を多く扱ってきた。ここでは「何の〇〇が好き?」「どっちが好き?」という意味であることを捉えさせながら意味のある文脈やつながりのある会話の流れの中で“**What〜?**”“**Which〜?**”の表現をたくさん聞かせ慣れ親しませていく。そうすることで、児童の英語の表現を使ったコミュニケーションの幅を広げていきたいと考えている。

ねらいとする力を身に付けさせるに、児童の実生活に結び付けられるような場や自然な流れで表現に慣れ親しむことができる場面を設定し、児童の「聞きたい、知りたい」という思いを持たせていく。また“**Which〜?**”はこの単元で初めて学習する表現のため、1時間を通して“**Which〜?**”の音声を聞かせることに徹していく。“**Which〜?**”は二者択一の疑問文であるため選択肢を教師側が提示しては思いをもった会話にはなりにくい。そこで、**Sit Down Game** では“**What〜?**”の表現を用いた内容を取り上げ、行きたい場所ややりたいスポーツについて児童に答えさせる。その際、児童が答えた意見を英語で繰り返し聞かせる。その児童の意見を基に **Talking** では“**Which〜?**”の表現を用いて自然な流れの会話でねらいとする表現を聞かせることに重点を置く。**Reading** では英語の音の流れをじっくり何度も聞かせたところで英文を見せ、読んでいる文章を指で追いながら聞かせる。十分音声を聞かせてから読めるところと一緒に読んでいくようにするなど丁寧に扱っていく。**Writing** では自分に当てはまる表現をなぞったあと、文を書くようにする。書いている間も文を読み上げていくことで英語の音声を聞かせていく。

これらの英語の音声を聞かせる活動を通して、“**What〜?**”“**Which〜?**”の表現に慣れ親しませていきたい。そして心を込めて話しかけることを心がけ、ことばを大切にしたりとりが、本当のコミュニケーションにつながることを実感させたい。

## 3 児童の実態について

<省略>

今回の意識調査で、①の問いに対して、何らかの方法で対応をする児童がほとんどであることから、コミュニケーションをとることにたじろがない児童が育ってきていると思われる。②の問いから、英語を使ってコミュニケーションをとることが楽しいと半数以上の児童が答えているが、「話す」ことに恥じらいを感じている児童も多く見受けられる。また、アルファベットの文字を使った活動や外国のことへの関心の高さもうかがわれる。③の問いからは「単語が書けるようになりたい」「英語が読めるようになりたい」という知的欲求の高まりが感じられる。これらの結果は、短時間学習の取り組みや授業を通して「聞く」活動を多く取り入れたことで、英語の音声に十分慣れ親しんできた成果だと考える。

#### 4 単元のねらいと評価の観点

- ・ 積極的に言語活動を行い、自分のことについて話したり相手のことを聞いたり友だちを紹介したりしてコミュニケーションを図ろうとする。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・ “What～?” “Which～?” を使って、自分のことや友だちのことを話したり、書いたりして表現することができる。  
【外国語表現の能力】
- ・ “What～?” “Which～?” の表現の会話を聞いたり、文章を読んだりして、話の内容を理解することができる。  
【外国語理解の能力】
- ・ 日本語と英語の単語や文章の表記の違いがわかる。  
【言語や文化についての知識・理解】

#### 5 研究主題との関連

<省略>

研修を進めるにあたって、次のような仮説を設定した。

仮説

学級経営を基盤とし、「人・もの・自分とのかかわり」に着目した、学習活動を意図的・計画的に展開すれば、コミュニケーション能力を育むことができるだろう。

柱1	人の考え・思いにふれる（「学び合い」を通した、気づきのある学習展開）
	<p>【具体的な手立て】</p> <p>① Sit Down Game や Main 1 を通して、教師や友だちについて改めて知ったり、自分のことを伝えさせたりする。</p> <p>② 教師や ALT との会話に意図的に相槌を入れて聞かせ、会話につながりを持たせたり相手を意識しながら聞き合えたりするようにしていく。</p> <p>③ 学習中に指導者と児童、児童同士、また指導者同士で会話をする場面を取り入れ、お互いの思いを伝え合うようにする。</p>
柱2	めあてとする表現になれる（音声にたくさん慣れ親しませるための手立て）
	<p>【具体的な手立て】</p> <p>① 音声（聞くこと）を大切にし、ねらいとする表現を何度も聞かせられるような場面を設定する。</p> <p>② “What～?” “Which～?” の表現を自然な流れで使えるよう場面の工夫をしたり、身近な題材を使ったりして児童が関心を持って聞けるようにする。</p> <p>③ 児童とのやりとりの中で、日本語で答えたとしても英語の表現に直して聞かせるようにする。</p>
柱3	言語や文化にしたしむ（日本人としてのアイデンティティに関する内容の設定）
	<p>【具体的な手立て】</p> <p>① Reading や Writing の際に、文章の表記の違いに対する気づきを取り上げる。</p> <p>② Main1 や Main2 での内容とのつながりをしっかりと持たせながら Reading/Writing の活動に取り組めるようにする。</p>

6 単元の指導計画・評価規準（6時間扱い）

時	○目標・活動	表現例・語彙例	評価				評価規準	評価方法
			コ	表	理	言		
1	<p>○自分の飼いたい動物について積極的に伝えようとする。</p> <p>○“What～?”“や” “Which～?”の表現の会話を聞いたり、文章を読んだりして、話の内容を理解することができる。</p> <p>・ Sit Down Game 「飼いたい動物は何？」</p> <p>・ Song</p> <p>・ Talking 「Which do you want to have, a dog or a cat?」</p> <p>・ Reading(17-1)</p>	<p>“What animal do you want to have?” “I want to have~.” “You want to have~.” “Which do you want to have, a dog or a cat?” “I want to have a dog.” “I want to have a cat.”</p>	○				<p>・自分の飼いたい動物について積極的に伝えようとしている。</p> <p>・自分の飼いたい動物やどっちの動物を飼いたいかの表現を聞いて内容を理解している。</p>	行動観察
2	<p>○自分の食べたい給食について積極的に伝えようとする。</p> <p>○“What～?”“や” “Which～?”の表現の会話を聞いたり、文章を読んだりして、話の内容を理解することができる。</p> <p>・ Sit Down Game 「今月の給食は何を食べたい？」</p> <p>・ Song</p> <p>・ Talking 「Which do you want to eat, pizza or spaghetti?」</p> <p>・ Reading(17-1)</p> <p>・ Writing</p>	<p>“What food do you want to eat?” “I want to eat~.” “You want to eat~.” “Which do you want to eat, pizza or spaghetti?” “I want to eat~.” “You want to eat~.”</p>	○				<p>・自分の食べたい給食について積極的に伝えようとしている。</p> <p>・“What～?”や“Which～?”の表現の会話を聞いたり、文章を読んだりして、話の内容を理解することができる。</p>	行動観察
③ 本時	<p>○自分の行きたい県について積極的に伝えようとする</p> <p>○“What～?”“や” “Which～?”の表現の会話を聞いたり、文章を読んだりして、話の内容を理解することができる。</p> <p>・ Sit Down Game 「行きたい県はど</p>	<p>“What prefecture do you want to go?” “I want to go to~.” “You want to go to~.” “Which do you want to go ,to Hokkaido or Okinawa?” “I want to go to Hokkaido.”</p>	○				<p>・自分の行きたい県について積極的に伝えようとしている。</p> <p>・“What～?”や“Which～?”の表現の会話を聞いたり、文章を読んだ</p>	行動観察 ワークシート

	<p>こ？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Song</li> <li>• Talking 「Which do you want to go to, Hokkaido or Okinawa?」</li> <li>• Reading(17-2)</li> <li>• Writing</li> </ul>	<p>“I want to go to Okinawa.”</p>					<p>りして、話の内容を理解することができる。</p>	
4	<p>○自分の好きな教科について積極的に伝えようとしている。</p> <p>○“What～?”“や” “Which～?”の表現の会話を聞いたたり、文章を読んだりして、話の内容を理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Sit Down Game 「好きな教科は何？」</li> <li>• Song</li> <li>• Talking 「Which do you want to study, ○○or ○○?」</li> <li>• Reading(17-2)</li> <li>• Writing</li> </ul>	<p>“What subject do you like?” “I like~.” “You like~.” “Which do you want to study, ○○or ○○?” “I want to study○○.” “You want to study○○.”</p>	○		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の好きな教科について積極的に伝えようとしている。</li> <li>• “What～?”や“Which～?”の表現の会話を聞いたたり、文章を読んだりして、話の内容を理解することができる。</li> </ul>	<p>行動観察 ワークシート</p>
5	<p>○自分の好きなスポーツについて伝えようとしている。</p> <p>○“What～?”“や” “Which～?”の表現の会話を聞いたたり、文章を読んだりして、話の内容を理解することができる。</p> <p>○“What～?”“や” “Which～?”を使って、自分のことや友だちのことを話したり書いたりして表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Sit Down Game 「好きなスポーツは何？」</li> <li>• Song</li> <li>• Talking 「Which do you want to play baseball or soccer?」</li> <li>• Reading(17-2)</li> </ul>	<p>“What sports do you like?” “I like~.” “You like~.” “Which do you want to play, baseball or soccer?” “I want to play baseball.” “I want to play soccer.” “You want to play~.”</p>	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の好きなスポーツについて積極的に伝えようとしている。</li> <li>• “What～?”や“Which～?”の表現の会話を聞いたたり、文章を読んだりして、話の内容を理解することができる。</li> <li>• “What～?”“や” “Which～?”を使って、自分のことや友だちのことを話したり書いたりして表現することができる。</li> </ul>	<p>行動観察 ワークシート</p>



8 本時の展開 (第3時 / 6時間)

過程	児童の活動	教師の働きかけ		◇指導上の留意点 ◎評価【観点】〈方法〉	資料	時間
		T1(HRT)	T2			
ウォーム・アップ	1 挨拶をする。	HRT : "Let's start today's English lesson." T2 : "Good morning(Hello),Everyone. How are you ?" 児童 : "I'm fine, thank you ,And you ?" T2 : "I'm fine, thank you. "		◇自然に気持ちよく挨拶させる。		1
	2 Sit Down Game をする。 「行きたい県はどこ？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T2 と分担して自分が行きたい県について尋ねる。</li> </ul> “What place do you want to go?” “You want to go to~.” “OK sit down Please.”	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が答えたことを絵や文字にしながら言う。</li> </ul> “What place do you want to go?” “You want to go to~.” “OK sit down Please.”	◇修学旅行で福島に行ったことを導入で話し自然に、 <b>Sit Down Game</b> に入るようにする ◇児童の答えが日本語であっても担任T2は英語に直しテンポよく何回も聞かせる。 ◎自分の行きたい県について、積極的に伝えようとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】<行動観察>		12
	3 Song 「The Big Rock Candy Mountain」を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童とともに楽しく歌う。</li> <li>・絵やジェスチャーなどで歌の大体の意味が分かるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に繰り返し歌い聞かせる。</li> <li>・児童と共に歌う。</li> </ul>	◇児童の表情をよく観察し、関心・意欲を持って活動できるように支援する。		8
レッスン・チャレンジ	4 Main - 1 ・どっち派クイズ 「みんなで旅行にいくなら〇〇と〇〇どっち？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Sit Down Game で挙げた県の中で多かった2県を取り上げてどっちに行きたいかを尋ねる。</li> </ul> “Which prefecture do you want go, to ○○or to○○?” “You want to go to~ ?.” “He(She) wants to go to~.”	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が答えたことを繰り返し、表現を聞かせる。 “You want to go to~.”</li> <li>・どちらの意見が多いかを黒板にカウントする。</li> </ul>	◇Sit Down Game で聞いた県の中で多かった2つを取り上げることで、“Which~?”の表現につなげる。 ◇担任とJTEでデモンストレーションを行う。 ◇児童との会話の中で何度も “Which○○do you want go, to ~?” “I want to go to~.” “You want to go to~.”の表現を繰り返して慣れさせる。 ◎ “What○○do you want~?” “Which○○do you want~?”の表現の		5

				<p>会話を聞いたり、文章を読んだりして、話の内容を理解することができる。 【外国語理解の能力】〈行動観察〉</p>		
	5 Main - 2 Listening& Reading	<ul style="list-style-type: none"> <li>• T2 と共に、会話しながら繰り返し文章を聞かせる。</li> <li>• 児童と一緒に声を出して読む。</li> </ul> <p>“Which do you want to go, to the mountain or to the sea?”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 聞き取れた単語を尋ねる。</li> </ul> <p>“What did you hear?”</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• T1 と共に、会話しながら繰り返し文章を聞かせる。</li> <li>• 児童と一緒に声を出して読む。</li> <li>• 児童が答えた単語を黒板に書く。</li> </ul> <p>“I want to go to the mountain.”</p> <p>“I want to go to the sea.”</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇じっくり何度も聞かせる。</li> <li>◇絵やジェスチャーを加えて会話の内容を理解させる。</li> <li>◇十分聞かせたとこで聞こえた表現を黒板に書いたり、プリントを見て指で追わせながら読ませたりすることで音声と文字の一致を図る。</li> </ul>	プリント	10
	6 Main - 3 Writing	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Main - 2 での文章に対して自分はどう派であるかを考えワークシートの文章をなぞらせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Main - 2 の文章を繰り返し聞かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇Main - 2 の内容をそのままなぞらせることで無理なく書く活動に入れるようにする。</li> <li>◇Main2 の表現を何度も繰り返しながら机間指導する。</li> </ul>		3
トップ・オフ	7 振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• “What～?”や “Which～?” を使った話の内容を理解することができたか、自己評価する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇“What～?”や “Which～?” を使った話の内容を理解することができたか、振り返らせ、気付いたことを書かせる。</li> </ul>	振り返りカード	5
	9 挨拶をする。			<ul style="list-style-type: none"> <li>◇元気な声で挨拶をさせる。</li> </ul>		1
<p>HRT : "That's all for today's lesson !"          児童 : "Thank you , Ms.○○."          T2 : "Thank you,too."          児童 : "Thank you , Mr.○○."          HRT "Thank you,too. See you next time."</p>						